

芹ヶ谷公園"芸術の杜"プロジェクト

CONCEPT BOOK (案)

市民意見募集実施結果

2020年3月

町田市

# 芹ヶ谷公園"芸術の杜"プロジェクト CONCEPT BOOK (案)

## ご意見募集結果について

芹ヶ谷公園"芸術の杜"のビジョンや全体デザイン等をまとめた『芹ヶ谷公園"芸術の杜"プロジェクト CONCEPT BOOK』の策定にあたり、ご意見募集を行いました。たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。

この『CONCEPT BOOK』を通じて、目指す将来像や考え方をより多くの方と共有することで、将来にわたり親しみ愛される公園の実現に向け、皆さまと一緒に活動を始める足掛かりとなれば幸いです。

### 1 意見募集期間

2019年12月16日(月)から2020年1月17日まで(金)

### 2 意見募集方法

- 町田市ホームページに資料を掲載
- 広報まちだ(2019年12月15日号)に概要を掲載
- 企画政策課(市庁舎4階)、公園緑地課(市庁舎8階)、文化振興課(市庁舎10階)、各市民センター・連絡所、各コミュニティセンター、町田市立国際版画美術館、各市立図書館、町田市民文学館、生涯学習センター、町田市民フォーラム、子どもセンターまあち

### 3 いただいたご意見

29名の方から103件のご意見をいただきました。いただいたご意見の要旨とそれに対する市の考え方は次ページ以降をご覧ください。

ご意見	市の考え方
<b>”芸術の杜”プロジェクト全般について</b>	
<p>芸術は、衣食住とは違い、生活の中に無くても生きていけるものです。インターネットが発展して、外に出る必要もなく、クリック一つで何でも手に入る、暇も潰せる、とても便利で快適な生活を送る事ができます。けれど、美しさに言葉を失ったり、心に触れるものに涙したり、見知らぬ誰かと言葉ではなく感動を分かち合ったりそういう本当の豊かさは、自然と芸術だけが人間に与えてくれるものなのだと思っている。小さな子供からお年寄りまで、芹ヶ谷公園が心の憩いの場所になるお手伝いをさせて頂ければ幸いです。</p>	<p>芹ヶ谷公園が、新たな町田のイメージをつくるような魅力ある場所となることを目指しております。</p> <p>そのために、多くの方から活用のアイデアをいただきながら、そして一緒に活動しながら、魅力あふれる公園の実現に向けた検討を進めてまいります。</p>
<p>本”芸術の杜”プロジェクトが成功した暁には、町田市が文化レベルの高い芸術の町として評価されるようになることを心からお祈りする。</p>	
<p>コンセプト案を見て素晴らしいなと本当に思った。とてもわくわくした。こういった取り組みが行われていることについて、知らない人はたくさんいると思う。特に何らかのグループに所属していなかったりして社会的に孤立している人の声は届きにくい。</p>	
<p>こういうプロジェクトは一部門だけで考えるべきではなく他の部署も協力してその役割を果たすようトップにお願いしたい。</p>	
<p>公園を楽しむ仕組みをみんなで考えることについて、本意見・アイデアの収集がこれに当たると考える。</p>	
<p>「できること」を強みとして「如何にそれを継続していけるか」そして「柔軟に変化していけるか」が重要だと考える。</p>	
<p>自然豊かな屋外で、開放的な気持ちで音楽を聴いてもらえたら、そしてふらりと公園へ行けば、何か心がわくわくすることが待っていると地域の方々に思っていたきたい。</p>	
<p>自然豊かな場所は人々に色々なものをあたえてくれる大切な空間です。最近では集客の為に商業施設も色々と工夫を凝らし、芝生ゾーンを作ったりしています。芹ヶ谷公園は他には無い知的な部分を満足させてくれる空間として充実させてほしい。</p> <p>町田が芹ヶ谷公園の存在によって素敵な街になることを楽しみにしている。</p>	

ご意見	市の考え方
<b>(仮称)工芸美術館の整備について</b>	
<p>工芸館の建設は市民の将来の負担になるのは明白である。市立博物館の所蔵物は町田市教育センターの空き教室などを利用して、特別に建物を作る必要はないと思う。所蔵物も本当に町田市に必要なもの(町田市の出土品など)かどうか選別すべきだと思う。</p>	<p>(仮称)国際工芸美術館は、博物館の収蔵品のうち特に評価の高いガラスと陶磁器の美術品を適切に保存・展示できる施設として必要な整備を行います。</p>
<p>現在あまり活用されているとは言えない、考古学資料館を工芸美術館に取り込み土器などの展示コーナーを設ける。(全体が無理ならば、資料館の展示品の一部でも交換しながら展示する場とする)</p>	<p>それ以外の収蔵品(考古・歴史・民族資料)については、生涯学習部に移管し、教育的な側面からも活用を図ります。</p>
<p>案としては全体によくできており全体が完成するのを待ち遠しく感じている。交通の不便な場所にあった博物館をリニューアルして工芸美術館を新設するのも良い考えだと思う。</p>	
<p>工芸美術館の建設に賛成。文学館、版画美術館とともに町田市の魅力にしていきたい。人が生きていくには、必要な生命の維持だけでなく、古来からの人が紡いできた文化に触れることで、心の豊かさや視野の広さを獲得することが必要だと思う。都内まで出かけて高い美術展を見なくても、身近に触れられるアートがあるということは、とても幸せなことです。文学館や版画美術館と共に、工芸美術館も町田市の誇りとして大切にしていってほしいと思う。</p>	<p>新しく整備する(仮称)国際工芸美術館は、芹ヶ谷公園や版画美術館と一体となって、多様な美術活動やコミュニティを育む場のひとつとしていきます。</p>
<p>現状の施設を活かし「芸術の杜」そして「国際美術館」という名前を活かした持続可能な発展を希望する。</p>	<p>整備にあたり、「子ども」と「体験」という要素を新たに加えると共に、駅から近い自然豊かな公園という環境も活かし、これまで美術に興味・関心が無かった層に対しても気軽に訪れられる美術館として、多様なアートに触れるきっかけを提供すると共に、町田市が所有する貴重な芸術作品をより多くの方にご覧頂ける場とします。</p>
<p>版画と工芸は日本の伝統芸能です。せっかく美術館があるのに、活かさない手はない。</p>	
<p>ひなた村のような陶芸などが可能な施設もあり、市の縦割り管理を超えた連携などにより、工芸・工作の文化を市民に広げる拠点の一つとしても工芸美術館が使われるようになることを期待する。</p>	

ご意見	市の考え方
<p>今回検討されている新しいプランでは美術館の運営はどうなっていくのか。市民の財産としての美術館が、公共性を持って継続的に機能していくことができるのか危惧される。</p>	<p>(仮称)国際工芸美術館の建設は、市立博物館の老朽化に伴う再編として行っています。</p> <p>今回新たに(仮称)国際工芸美術館の基本設計を行うにあたり、収蔵品の見直し及び版画美術館との機能や場の共有等を進めることで、効率的・効果的な空間づくりや運営を行います。</p>
<p>芸術の杜は、芹ヶ谷公園の一番の魅力である自然を保全するために、及び、未来永劫にのしかかる維持管理費が市の税収の身の丈の範囲を超えているために、工芸美術館の新設計画を中止すべきである。</p>	
<p>芹ヶ谷公園に工芸館(博物館)建築は反対である。30億は投資に見合わない。</p>	
<p>芹ヶ谷公園は、その貴重な自然の保全を第一に考えながら活用すべきで、少なくともこれ以上の地形の改変を行わない範囲内での活動を楽しむべき。百歩譲って、市が工芸美術館の保有にどうしてもこだわるなら、版画美術館の展示を縮小し、版画美術館の現建物の内部に開設すればよい(財政的に町田市の身の丈にあったものとすべき)</p>	
<p>展示や発表について版画美術館の展示場所が重宝されている。</p>	
<p>版画美術館の一般開放は年齢性別、職業を問わず、多くの人に参加している。開放日を増やしたり、イベントを増やすことで更に発展するのではないか。</p>	
<b>公園のみどりについて</b>	
<p>もう少し植栽などを整えたら美しい公園になると良いと思う。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、公園内の植生状況を把握したうえで魅力的な植栽計画の検討を進めてまいります。</p>
<p>みどりの多い自然大公園にして欲しい。</p>	
<p>今年3月に完成する芝生広場の中央に8m位のモミの木を1本植えて、毎年12月1ヶ月位電飾を灯し、子供達の夢の思い出の場所とする。(モノレールが出来るまでの期間でも良い)</p>	
<p>高価な花、珍しい花でなくてもいいので花がきれいに咲くような管理をお願いしたい。</p>	
<p>芹ヶ谷公園については無駄な建物等の建設は行わず、落葉を敷き詰めた散策路や、昆虫観察のできる落ち葉の積肥え、水生昆虫の生息できる湧水水路など、簡素で植生や環境を生かした施設整備に留めるべきと考える。</p>	<p>現状の生態系の保全に留意し、いただいたご意見を参考に、調査結果を踏まえながら公園内の自然環境を活かすことと、適切な緑の更新を目指した整備及び管理運営の検討を進めてまいります。</p>
<p>散歩(バードウォッチング) 鳥がめっきり少なくなりました。特にウグイスの棲む環境がなくなって来たので少しは残しておいてほしい。樹木も実のなる木を少し増やしてほしい。</p>	
<p>植物を育てるためには、魚釣り、虫取りも同様ですが、環境破壊や変化に及ばないプランが必要だと思う。</p>	

ご意見	市の考え方
<b>公園の施設について</b>	
<p>芹ヶ谷公園のコンセプトにぜひインクルーシブ公園の思想を取り入れてほしい。東京都も都立公園で導入を進めている。障がい児と健常児と一緒に遊ぶスペースがあることで、障がい児の皆様が街に出やすい雰囲気を作り、健常児の皆様は障害児を接する機会が増えることで、それぞれのより良い育ちにつながるのではないかと思う。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、公園の管理・運営の視点も踏まえながら、様々な方にとって利用しやすい魅力的な整備の検討を進めてまいります。</p>
<p>谷底という地形なので、一度下りてしまうと、しばらくそこで過ごすことになり、イベントの時などはトイレが足りない。楽しい時間を継続するには、ちょっと寄ってみたいくなるような楽しいトイレ付空間が必要だと思う。</p>	
<p>快適なトイレ、休憩室、おむつ交換、授乳場所を設ける。</p>	
<p>夏は子供たちが水で遊んでいるので脱衣所・トイレはもっと充実させるべきと思う。</p>	
<p>水遊び等できているようですが、着替えの場やトイレの整備が不十分だと思う。</p>	
<p>ビジターセンターのような場所を作ってほしい。 公園の自然やイベント、使い方をお知らせしたり、活動グループがミーティングをしたり、講座ができたり、休憩所を兼ねたりする場所が必要だと思う。ビジターセンターを作るなら、多目的広場近くが来園者にもわかりやすいと思う。</p>	
<p>湧き水と憩いのゾーンには小さくとも自然科学館があると良いと思う。また暗いイメージの場所なので東屋のようなお茶を出してくれる建物が有るとほっとすると思う。自然をゆっくり楽しむ為にももっとベンチを多く設置すべきと思う。</p>	
<p>ハンドメイドで楽しい時間を過ごした後に、ゆっくりお茶を飲んだり食事したりできる場所があれば大満足。</p>	
<p>落ち着く自然環境ではあると思う。 椅子や屋根、ソファのアイデア次第で人の利用が増えると思う。</p>	
<p>噴水、水路をきれいにする。</p>	
<p>噴水、水路の周辺に保護者の見守るスペースを十分に取る。</p>	
<p>遊具を整備する。</p>	
<p>夏は子どもたちが楽しく遊んでいる姿がこれからも続きますように、今あるスペースを減らすことのないようお願いしたい。</p>	
<p>散策 公園の定期的な整備、管理</p>	

ご意見	市の考え方
<p>地産地消品を使った上質なレストランを誘致してほしい。町田には安心して食事ができる食育、地産地消の施設が少ない。超高級でなく非日常が味わえる落ち着いた店であれば良い。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、飲食施設の検討を進めてまいります。</p>
<b>公園の活用について</b>	
<p>芹ヶ谷公園や鶴間公園など駅そばに綺麗な公園のある街、町田市！          どちらの、公園もとても整備され大きな広場もあり恵まれた環境だと感じている。更に町田市には町田プロレスやスポーツ団体などイベントを開催する団体も多い。そこで、各種イベントやBBQを是非とも駅そばの公園でやりたいと思う。BBQは専用施設に行かねばならず町田市内には、ほぼ無いのが現状である。綺麗な公園でBBQが出来たら町田市内で楽しむ家族が増えると思う。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、市民の皆様の「〇〇したい」を実現しながら、公園から賑わいを創出できるような活用方法について検討を進めてまいります。</p>
<p>芹ヶ谷公園は、交通も便利ですのでBBQやグランピングが気軽に出来る街となればTVにも取り上げられグランベリーとの相乗効果で、住みたい街にもランキングに上がりそう！楽しそうな街という印象が子育て世代には、特にポイントになりそう。低コストでも『楽しめる街！町田』にしていって欲しい。いまは近隣だと相模大野の方が何故か子育て世代にはイメージが良い。</p>	
<p>1～4名程度の人数規模で、クラシックやジャズ、ポップスなど、日によって異なる様々なコンサートを定期的で開催し、年に一度、良い季節の時分には定期コンサートに出演している全員を集め、加えて著名なアーティストを招いた音楽フェスティバルを開催</p>	
<p>手作りに特化したお祭りを行なう。今まで芹ヶ谷公園で行ってきたお祭りは、ケータリングや地域団体のお店でも、食べ物のお店が主流だった。せりがや冒険遊び場では毎年「手作りバザール」と称し、手作りのみの出店やワークショップ、ステージを行うお祭りを行っている。また、版画美術館ではゆうゆう版画美術館祭りとして、手作りの品を出展できるお祭りを行っている。それらを複合してより大きい手作りをテーマにしたお祭りをしてみてはどうか。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、既存のイベントとの連携などを含めた運営手法の検討を進めてまいります。</p> <p>現在、「公園で〇〇したい」とう声を集め、実験的な取り組みを行っていく「Made in Serigaya(メイドイン芹ヶ谷)」というプロジェクトを立ち上げました。7月には活動の集大成として、(仮)芹ヶ谷パークミュージアムフェスティバル2020(仮)を開催予定です。ご興味のある方はぜひご参加いただければ幸いです。</p>

ご意見	市の考え方
<p>子どもたちによる子どもたちのイベント。子どもたちが実行委員になり、自分たちのやりたいことを実現できるイベント。多目的広場を利用してのお祭りや、公園全体を利用してのゲーム等、子どもたちが公園をどう利用するのか見てみたい。</p>	<p>芹ヶ谷公園と(仮称)国際工芸美術館の一体的な整備を進めるにあたっては、「子ども」「体験」という視点をもち、そして、芹ヶ谷公園の環境を最大限に活かす構想です。</p> <p>いただいたご意見を参考に、事業計画の検討を進めてまいります。</p>
<p>芹ヶ谷公園の施設内でワークショップをしたい。 現在、私は幼児・小学生対象のコンテンツを制作しており、その展開の一つとしてワークショップを実施したいです。今実施可能なワークショップは、デザインされた紙に子供達に絵や文字をかいてもらうことで、想像力を養うという内容である。実現のためには、そうしたワークショップ実施を受け付ける窓口があり、施設を貸していただける機会があれば可能。</p>	
<p>芹ヶ谷公園の施設内で、ワークショップで作られた市民・子供達の作品を展示したい。 市民の作品を展示できるギャラリーを、公園施設内(国際工芸美術館等)に作ることで実現できる。そして、ワークショップの実施から展示につながる枠組みが必要。パークミュージアムで実施されるワークショップやイベントでできた成果を多くの人に見てもらう場があることで、さらにその意味が広がる。そして、家族や知り合いの作品が展示されることで、施設・美術館に親しみを持つことができると思う。</p>	
<p>公園の自然を利用した自然観察や体験のイベントを定期的に行う。忠生公園やかしの木山自然公園で行っているような観察や体験のイベントを、芹ヶ谷公園でも行う。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、公園内の魅力的な資源である自然の活用方法も含めた運営手法について検討を進めてまいります。</p>
<p>自然見学会(植物、鳥などを自然地形とともに説明する)東京都公園協会などの各公園で実施しているが、芹ヶ谷公園でもやったらどうか？</p>	
<p>木や草花などの材料が豊富なのではと思うので、落ち葉や木片、木の実、自然に咲いている花をドライフラワーにしたものなど事前に用意された材料を使ってインテリアや簡単な棚、フォトフレーム、かご、菓子皿、リース、飾りなどを思うままに作れるような場所があったら素敵だなと思う。材料は事前に用意されていてもいいですし、自然の森を散策しながら材料になりそうなものを自分で探すという体験も普段の生活ではなかなかできないことなので、とてもリラックスした時間になりそう。</p>	

ご意見	市の考え方
<b>公園の運営について</b>	
<p>専門性のある人を配置してほしい。</p> <p>コンセプトブックに出ている様々なアイデアはとても夢のあるもので、楽しい公園の様子が思い浮かべられます。芹ヶ谷公園がそのような自由度の高い公園になり、多くの市民が自分の思いを実現できるようになれば素敵だと思う。それを現実的に実現するには、公園を運営していく核となる人が必要です。自然のことやアートに専門性を持っている学芸員のような方が、ヴィジョンを持って公園を演出したり、そこで活動する市民の相談を受けたり、様々なアイデアをコーディネートしたり、市とのパイプ役になることが必要。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、公園の運営に関し、市民の皆様の「〇〇したい」を実現できるような管理・運営手法の検討を進めてまいります。</p>
<p>市民密着の公園であってほしい。</p>	
<p>芹ヶ谷公園内の施設や関わる市民グループと担当課との連絡会を設けてほしい。</p>	
<p>公園の変遷を見続け、日常の公園の様子を良く知る地域住民は、公園運営の強い味方である。</p>	
<p>農を体験できる公園。</p> <p>日常的に農に「触れ」「学び」「楽しむ」ことができ、野菜や果物が育つ様子を間近に見たり、農作業体験に参加することが出来る公園。</p> <p>畑や果樹園があるスペースを設けることで、子供たちに栽培・収穫による自然教育プログラムの提供。→食育が出来る。</p> <p>食に興味がある人が集まるので、シニア層から子供まで、多世代交流に繋がる。</p> <p>また、そこで採れた野菜や果物を使ってカフェスペースにて提供、マーケットを開き販売する。</p> <p>必要なこと</p> <p>農園、カフェ・直売所の建設、マルシェ・マーケット(市場)の開催。</p>	

ご意見	市の考え方
<p>芹ヶ谷公園が町田市のいこいの場として活性化されることはとても素晴らしいと思う。アクセスしやすくなり、また様々な催しなどで、子育て層や高齢者にとっても親しみの持てる場となることを期待する。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、多様な世代の方にご利用いただける公園を目指した整備と運営手法の検討を進めてまいります。</p>
<p>公園を利用しての屋外型子育て広場を行う。多目的広場や現警備員室前の広場等を利用して、屋外型子育て広場を行う。雨天の場合は、ビジターセンターの中で行なう。その活動を民間団体に委託する。</p>	
<p>気軽に食べることのできる、お弁当やお菓子を売る売店、人が多く来園する土日にはキッチンカーなどの手配も良いのではないか。</p>	
<p>アウトドアを楽しむためには、周辺の住宅に配慮する必要があると考える、特に騒音とゴミ。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、動植物への配慮と、園内の安全確保と周辺住民の皆様に配慮した設計及び管理運営手法の検討を進めてまいります。</p>
<p>動物や生き物とふれあうためには、犬は声と匂い、虫と魚は場所によって、著しい環境変化が懸念される。</p>	
<p>ライブやパフォーマンスをするためには、周辺の住宅に配慮する必要があると考える、特に騒音とゴミ。</p>	
<p>ここでしかできない特別な遊びをするためには、周辺の住宅に配慮する必要があると考える。特に騒音とゴミ。また、現状、夜は公園の中が薄暗く見通しが悪いので、整備する必要があると考える。</p>	
<p>食を楽しむためには、上野公園のようなイベント形式か常設かで方向性が変わると思う。どちらであっても騒音、ゴミ、匂いを配慮する必要があると考えます。また、常設の施設の規模が大きくなる場合、虫による被害も考えられる。</p>	
<p>色々なイベントをするためには、周辺の住宅に配慮する必要があると考える、特に騒音とゴミ。</p>	

ご意見	市の考え方
<b>「創作活動」や「体験」について</b>	
陶芸のできる体験工房が欲しい	<p data-bbox="970 846 1455 1021">芹ヶ谷公園と(仮称)国際工芸美術館の一体的な整備については、「子ども」と「体験」という視点を持つとともに、芹ヶ谷公園の環境を最大限に活かす構想です。</p> <p data-bbox="970 1088 1455 1263">子どもも大人も創作活動を楽しめる工房などの体験機能については、未利用地も活用して公園全体で捉え最適な形に配置します。</p> <p data-bbox="970 1330 1455 1456">工房等のあり方については、いただいたご意見も参考にしながら、来年度から検討を進めてまいります。</p>
工房にはコンピュータ(3D プリンターなど)を備えて欲しい。	
公園内に工房を作る考えもあるようですが、工房を誰がどのように活用するか、その継続性はどうかといった議論とともに、市民に開放された工作室としての検討もお願いしたいと思う。	
工芸美術館に立派な作品を展示するのもいいですが、実際に市民が参加できる場を作ってほしい。美術館併設の工作室のようなものをそれなりに充実した形で作り陶芸講座、木工講座、染色講座などの開催ができるようにする。	
陶芸講座は、これまで市の陶芸スタジオで開催され、市民グループの活動の場としても一部に開放されており、そこを起点にして市民グループの活動が広がってきた経緯がありますが設備の老朽化などもありその活動も終了する。市民間のコミュニケーション活性化のためにも工作室(アトリエ)の設置と市民(グループ)への開放をぜひお願いしたい。	
“芸術の杜”ということであれば、陶芸が出来る工房、電気、ガスの設置をお願いしたい。相模原市(磯部)には出来た頃はよかったが現在では予約しづらい状況。	
版画美術館では版画、工芸館ではとんぼ玉や陶芸教室が有ると良い。	
創作活動について、版画美術館の一般開放や集中講座で活動できている場として重宝されている。工芸美術館を併設する際、陶磁器やガラス工芸を制作できる施設もあれば更に発展が見込めると考えられる。	
版画美術館と工芸美術館を最大限に生かし、制作のイベントや制作場を提供が良いと思う。日本の美術教育は制作に偏っている上に「広く浅い」というのが現状。伝統工芸等、後継者問題の解決のためにも「より深い制作ができる」を打ち出し、制作の場を提供していくことが必要であると考え。併せて、収蔵品の解説、歴史背景、技術講座等、生涯学習の場としても活かしていけると思う。	
小さな子供対象には先生がついて簡単なものを作る工作教室も良いですし、大人対象には有料でも良いので、グルーやハサミ、糸ノコなど、必要になりそうなものを自由に使えたら嬉しいです。空いた時間に手ぶらで行って、ハンドメイドを楽しめるような「工房」のような場があったら是非行きたいと思う。	
経験したことがないので、ガラス工芸も体験できたら最高。	

ご意見	市の考え方
<b>アクセスについて</b>	
<p>高ヶ坂団地のバスのルートを変えて、循環バスにして芹ヶ谷公園に寄るようにした方が良いのではないかと。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、公園とまちなかとのつながりについて検討を進めてまいります。</p>
<p>駅、市役所、市民病院をつなぐ「マチっ子」のルート開設が望ましい。</p>	
<p>芹ヶ谷公園は町田駅からのアクセスが中途半端であり、バスがあっても採算は取れないと思う。また広さからは端から端まで歩いて20分とはかからない。遠くから来訪者を呼ぶことは難しいと思う。</p>	
<p>中心街から来るには、安心して歩ける遊歩道がない。文学館通からの誘導路の整備や、急坂にエスカレータあるいはエレベーターなどの設備が必要。</p>	
<p>公園の小田急線側に中町側にトンネルを造ったら良いのでは。会社側との交渉とかなりの費用が掛かりますが芹ヶ谷公園に気安く来る事が出来るのと災害時に一時的な避難場所として利用出来るのではないかと考える。</p>	
<p>子どもセンターまあちから、芹ヶ谷公園側に渡れる陸橋があれば、こども連れにとって、もっと色々な活用方法が生まれる。寒い日や雨天、小さい赤ちゃん連れなど特にまあちはありがたい存在。室内遊びをして、太陽が出たら少しだけでも森の中で外気浴させられたり、つなぎをまあちのデッキからのデッキ形式にしていたら、GSEなどを眺めたりする絶好のスポットにも。駅からのアクセスルートが増えるという点でも、こういうのがあったらと願う。</p>	
<p>雨や雪の場合、整備が最大の課題であると考えます。 町田駅から公園までの道のりが、下りの斜面であるため、危険が伴うと想定できる。</p>	
<p>スポーツなど体を動かしたい、健康になりたい、公園に行くまでを楽しむ為に、公園自体に手を加えるよりも、町田駅からの道中整備や案内活かすと良いと思う。徒歩15分から20分ある距離を生かしたイベント(マラソンやウォーキング)、謎解きなどで、集客の足掛かりを作ると良いと思う。</p>	
<b>せりがや冒険遊び場について</b>	
<p>多くの可能性を秘めた冒険遊び場の運営が持続可能なものになるよう、制度の見直しをしてほしい。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、公園全体で連携した魅力あるイベントの実施など、検討を進めてまいります。</p>
<p>今まで版画美術館とはいろいろコラボレーションしてきた。今後、公園とも様々な場面でコラボレーションしたい。</p>	
<p>冒険遊び場エリアにはシートを敷いて家族でお弁当を食べるスペースが必要。</p>	

ご意見	市の考え方
<b>安全・防災について</b>	
<p>もっと気軽に安心して利用するために、夜の安全性と駅からの利便性アップを望む。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、適切な安全確保と安心して利用していただける公園を目指し、検討を進めてまいります。</p>
<p>安全に静かに憩えること。</p>	
<p>大地震に備え、公園の一部に食糧やテントなどの大型備蓄庫を造り、避難所としての機能を整えてほしい。芹ヶ谷に限らずいざ、と言う時の消火、救援活動の拠点を拡充して、市民が安心して暮らせる充実した防災都市を目指すことこそこれからの町田市の誇りとすべきではないか。</p>	
<p>電源やインフラを充実して利便性や防災性を高めることは、防災への特化は昨今の多数の災害の備えとして、有意義だと思われる。しかし「日々運営されている生きた施設」でないと場所がもたない。</p>	
<b>その他</b>	
<p>案や図面のページに「お母さん」や「ママ」というところが強調されている部分があり、時代的にあまりよい表現でないような気がする。 「こどもと一緒に」「子連れで」などならまだジェンダー問題ないと思う。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、多世代の、多様な方々に楽しんでご利用いただける公園の実現を目指し、検討を進めてまいります</p>
<p>社会になじめずにいる人や、障がいがあったりいわゆるマイノリティとされている人たち、趣味というものがなく余暇をどう過ごすか考えている人そんな人たちが新たな居場所を作れて、潜在的に持っているパワーを生かせるようなシステムを組み入れることができたら素敵ではないか。今まで心地よい居場所をもてなかった人が加われば、その人は一生懸命そこを守り、良くしようとします。そこで救われたと思えば、新しく来た人を救おうとする。子供のいる家族や高齢者の方々はみなさんもご存じのことでしょうが、今公園に来ている人たちは様々である。一人で日々に疲れを癒しに来る大人、アートに興味のある外国人、犬の散歩に来る人、美術館で働いている障害者さんたちコスプレ仲間と撮影に来る人、施設のお出かけで来る車いすの高齢者に障害児、LGBTと思われる、見た目の性別と服装が異なる人その人たちを資源とみなして計画に組み入れることができるととても良いと思う。</p>	
<p>町田トリエンナーレは絶対に反対！ 反日活動、反天皇活動に加担するようなことは絶対にあってはなりません。</p>	

ご意見	市の考え方
<p>子どもと一緒に、自分に還れる場所、誰しもが、そこに行くだけで、本来の自分の戻れるような場所、日々の生活の中でふっと一息つける、そして、更に新しい発見や感動が味わえる、そんな場所に芹ヶ谷公園がなってくれたら面白いな、そんな場所が増えたらいいと思っている。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、多世代の、多様な方々に楽しんでご利用いただける公園の実現を目指し、検討を進めてまいります</p>
<p>芹ヶ谷公園が、たくさんの面白い大人と、町田の未来を支える子どもたちとの、出会いの場、心の成長を育む場になってくれたら、こんなに嬉しいことはありません。</p>	
<p>芹ヶ谷公園が町田市のおこいの場として活性化されることはとても素晴らしいと思う。アクセスしやすくなり、また様々な催しなどで、子育て層や高齢者にとっても親しみの持てる場となることを期待する。</p>	
<p>日頃から保育園の散歩コースとなっており、小さな子供達にとって最高の場所。近くの幼稚園からバスで遠足に来ている。自然に恵まれ、道路から離れていて自由に遊ばせるには最適の環境。大人もそのような姿を見られるのが一番。今後建築工事篇で入園が規制させたり、遊ぶスペースが制限されることのないようお願いしたい。</p>	
<p>ひだまり荘の利用活用について、どうなっているのか よくわかりませんが、もっと情報公開・宣伝するなど活用の余地があるのではないか。</p>	
<p>芹ヶ谷公園については、少し前に公園を高架で横断する大型道路とモノレールの建設計画が公表されたが。何故か、その計画が、想定鳥瞰図から消されている。</p>	<p>モノレールについては、現時点で整備時期は未定となっております。都市計画道路については現在、事業化に向けて調査設計を進めており、完成時期は2024年度を予定しております。</p>
<p>気持ちよく仕事をするために、環境は良いので、交通の便と安全性が必要ではないか。</p> <p>また、せっかく「国際」の美術館や工芸美術館(仮)があるのですから、小売や飲食ではなく、美術関係の仕事場にさせてはどうでしょうかと考える。「お母さんの働く場」であるなら、女性の働く場として、国内で見本となるような施設であれば良いと思う。美術大学を出ても、経験を生かせない職種につく女性は多い。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、様々な方が活躍できる公園を目指し、検討を進めてまいります。</p>